

平成25年第4回(9月)上越市議会定例会

**建設企業常任委員会資料【所管事務調査】**

下水道接続率向上への取り組みについて . . . . . 1

## 下水道接続率向上への取り組みについて

排水設備設置促進事業補助金に関し、戸別訪問時に未接続の理由と補助金制度の利用の意向などを聴取した結果、一定の補助金効果が見込めるものの、未接続の理由としては、「高齢者世帯・低所得である」のほか、「接続工事費が高い」が上位に位置していることから、高齢者世帯や低所得者世帯での効果は限定的と考えられる。

今後も、町内会単位の説明会や戸別訪問による接続率向上に取り組むとともに、この補助金制度について引続き検証を行う。

また、接続率向上のためには、下水道整備計画の段階から事前の説明会を行って接続の意向を確認し、高い接続率が見込まれる地域を優先して実施するなど効率的な整備を行うことが重要であることから、現在、策定中の次期事業計画に反映していきたい。

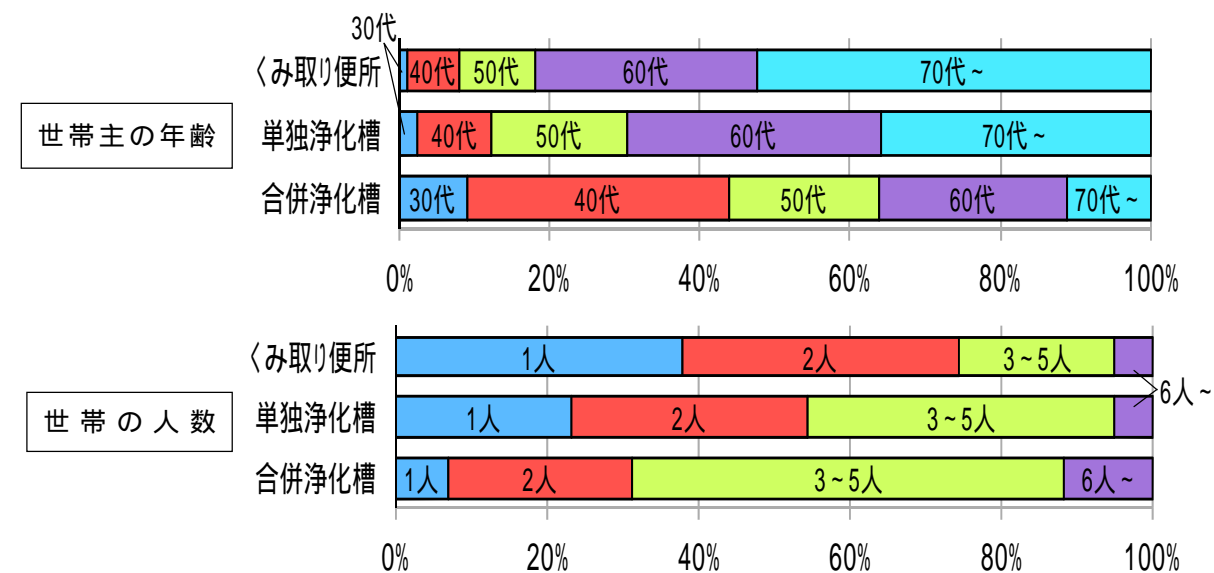
### アンケート調査

#### 未接続理由について

(複数回答)

	くみ取り便所	単独浄化槽	合併浄化槽	計
高齢者世帯	56 %	25 %	7 %	27 %
後継ぎがない	49 %	37 %	11 %	32 %
所得が少ない	56 %	36 %	22 %	37 %
住宅ローンや教育費が負担	1 %	18 %	42 %	21 %
接続工事費が高い	34 %	41 %	36 %	38 %
家屋の新築・改築予定がある	13 %	8 %	1 %	7 %
家屋が老朽化している	44 %	20 %	1 %	20 %
現状で不便を感じていない	29 %	26 %	25 %	26 %
浄化槽がもったいない	0 %	1 %	32 %	9 %
近所が接続していない	6 %	8 %	15 %	10 %

- ・くみ取り便所の世帯は、高齢者で低所得の方が多く、今後も接続は見込めないお宅が多い。
- ・合併浄化槽の世帯は、比較的若い世代が多く、資金的に余裕ができれば接続する可能性がある。
- ・接続工事費が高いことが、未接続理由の上位にある。



#### 補助金制度について

- ・未接続者は、後継ぎがない・所得が少ないなどの理由から、今の生活の中で接続工事を行うことは難しい人の割合が多い。
- ・供用開始からの期間が短い地区では、周りの様子を見ていて、そろそろ工事をしなければならないと思っている人が多く、工事をするのであれば利用したいと考えている人の割合が多い。
- ・「どの程度の補助金を出したら接続してもらえるか。」については、全体的に、「補助金制度があるに越したことはない。」という人の割合が多い。

(回答率 58%)

補助金制度を利用して接続したい	21 %
すぐに接続しないかもしれないが、制度があるに越したことはない	55 %
制度があっても接続しない	24 %
計	100 %

#### 融資制度について

- ・現在は年利 1.5% である排水設備設置資金融資制度について、仮に利子が無い場合(利子補給等) 融資制度を利用したいと思うか聴取りを行った。
- ・利用したいと回答した方がいる反面、高齢・他に債務あり等によって融資を利用できないという方も多く、接続率を向上させる手段としての効果は低いものと考えられる。

(回答率 60%)

無利子の融資制度を利用して接続したい	19 %
すぐに接続しないかもしれないが、制度があるに越したことはない	38 %
制度があっても利用したくない	8 %
制度があっても利用できない	35 %
計	100 %

#### 接続率向上への取り組み

項目	内容
町内会単位の説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の低い町内会単位で説明会を開催</li> <li>・接続率の現状、接続の効果、接続の費用等説明と啓発</li> <li>・計画した 30 町内会のうち、9 町内会について実施済み。</li> </ul>
新規供用開始時の説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会単位で供用のお知らせと早期の接続を依頼</li> <li>6 月末に供用開始した大湊区 1 町内会で実施</li> <li>9 月末以降の供用に合わせて、随時実施</li> </ul>
生活排水処理推進員の増員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水処理推進員を増員し、6 月から 3 人体制</li> <li>・長期未接続者の縮減のほか、供用開始から 3 年以内の世帯に対する接続促進にも注力する。</li> <li>・より早期の接続を促すことで近隣への波及効果も期待でき、地域全体で早期接続の気運の醸成を図っていく。</li> </ul>

#### 平成 26 年度の取り組み

- ・町内会単位の説明会や生活排水処理推進員による戸別訪問を継続して実施し、接続率の向上を図る。
- ・整備計画段階でのアンケート調査結果を反映し、整備後の接続が見込める地域を優先的に整備する。
- ・経営基盤の安定を図るため使用料の改定に向けた検討を行う。